

令和2年度 ICT を活用した集落ぐるみの有害鳥獣捕獲モデル事業
【役割分担】

団 体	役 割																
三次市農政課	事業総括，事業調整，対象集落選定等																
(株)エネルギー・コミュニケーションズ	ICT 箱わなの整備，本事業に係る情報連携クラウドの開発及び提供を行う。																
(株)野生鳥獣対策連携センター	<ul style="list-style-type: none"> • 指導実施計画の策定 地域に応じた指導方針案と捕獲が望める ICT 箱わなの設置候補地の提案を行い，指導実施計画を策定する。 • 鳥獣害対策学習会の実施 指導実施計画に基づく鳥獣被害対策学習会を対象集落において開催し，対策実施のポイントや必要な協力体制，必要な技術等について解説するとともに，わなの管理者を対象に，わなの操作方法や効果的に捕獲を進めるための餌の管理方法等について指導を行う。 • 現地指導の実施 学習会開催後，取組集落の巡回指導を行う。現地確認及びシステム上に記録されたデータ等を元に，必要な指導を実施する。 • 事業成果報告書の作成 各指導結果を取りまとめ事業成果報告書を作成する。 																
集落	<p>箱わなの管理（餌やり等）を行う。みわ 375 から得られる捕獲個体売払いによる収入は集落の取り分とし，餌代等として活用可能。</p> <p>シカ買取価格</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>大（30 kg 以上）</td> <td>3,000 円／頭</td> </tr> <tr> <td>中（15～30 kg）</td> <td>2,000 円／頭</td> </tr> <tr> <td>小（15 kg 以下）</td> <td>1,000 円／頭</td> </tr> <tr> <td>※ 頭・首以外の被弾</td> <td>▲ 1,000 円／頭</td> </tr> </table> <p>イノシシ買取価格</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>大（30 kg 以上）</td> <td>150 円／kg</td> </tr> <tr> <td>中（10～30 kg）</td> <td>100 円／kg</td> </tr> <tr> <td>小（10 kg 以下）</td> <td>500 円／頭</td> </tr> <tr> <td>※ 頭・首以外の被弾</td> <td>損傷部は減量とする</td> </tr> </table>	大（30 kg 以上）	3,000 円／頭	中（15～30 kg）	2,000 円／頭	小（15 kg 以下）	1,000 円／頭	※ 頭・首以外の被弾	▲ 1,000 円／頭	大（30 kg 以上）	150 円／kg	中（10～30 kg）	100 円／kg	小（10 kg 以下）	500 円／頭	※ 頭・首以外の被弾	損傷部は減量とする
大（30 kg 以上）	3,000 円／頭																
中（15～30 kg）	2,000 円／頭																
小（15 kg 以下）	1,000 円／頭																
※ 頭・首以外の被弾	▲ 1,000 円／頭																
大（30 kg 以上）	150 円／kg																
中（10～30 kg）	100 円／kg																
小（10 kg 以下）	500 円／頭																
※ 頭・首以外の被弾	損傷部は減量とする																

有害鳥獣駆除班	箱わなへかかった鳥獣を、みわ 375 の回収と合わせて、止め刺しを行う。 (現行制度により、捕獲補助金対象とする) イノシシ・シカ 7,000 円/頭 (現行制度により、出動手当対象とする) 出動手当 1,000 円/日 ※ <u>わな管理料は対象外とする</u> 箱わな 5,000 円/基
みわ 375 (有害鳥獣解体施設)	シビエ肉としての利活用するため、捕獲現場にて捕獲個体を回収する。